

公金支出決裁の管理手順は

二重チェック体制で 厳正かつ確実に処理している



工藤 正廣
(市民連合クラブ)

議員 他県で公金を誤振込する事例があったが、当市の支出決裁の管理手順は。

会計管理者 予算執行課が支出科目、予算額、支払相手方等の内容を確認し決裁した支出命令書と、会計係の財務会計システムの支払イリストを突合した後、

指定金融機関による支払い件数や金額の確認を得て地銀ネットワークシステムのデータ転送方法により振込をしています。予算執行課と会計管理者の内部分割体制による複数人での確認作業と支払い額の二重チェックにより、厳正かつ確実な支出処理を行っています。

議員 仮に損失が発生した際の処理方法は。

会計管理者 まずは相手方に速やかな返還を求め、指定金融機関に市の口座への資金返却をする手続きを依頼します。相手方が応じない場合は、不当利得返還請求などの法的手段も検討することになります。また、必要に応じて補正予算等の措置をとることになると考えています。

議員 民生委員・児童委員の活動費を改善しては。

健康福祉部長 県が示す民生委員活動費単価や他市の状況を踏まえ必要に応じて検討したいと考えています。

議員 補助スタッフの対応を検討しては。

健康福祉部長 民生委員・児童委員協議会との調整や、身分が法的に位置づけられていないことによる補助スタッフが行える活動や個人情報等の課題もあることから、他市の動向を注視したいと考えています。



民生委員の仕事をサポートする政策を



菅 淵 峰 尚
(活新会)

地域包括ケアシステム 目指すところは

共生と予防の視点で施策を推進

議員 国は高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援を目的に地域内で助け合う地域包括ケアシステムの構築を推進しているが、市の目指すところは。

パスは、認知症の状態に応じたケア内容等を示したものであるが、どこで配布しているか。

市長 日々の健康づくりや介護予防の充実に重点を置いた支援や、地域づくり座談会など住民主体の支え合い、助け合いの地域づくりを支援し、認知症になっても希望や目標を持つて日常生活を過ごせるような社会を目標に、共生と予防の視点を持ち、認知症サポーター等養成事業をはじめとする施策の推進を考えています。

議員 認知症患者の早期受診への取組は。



市内で配布している認知症ケアパス

議員 認知症の早期受診への取組は。

健康福祉部長 認知症ケアパスに掲載している「もの忘れ相談票」でかかりつけ医に相談する方法と、年10回実施している「もの忘れ相談」や、圏域の地域包括支援センターへの相談を通して早期受診につながるよう支援しています。

議員 労働人口の減少に対応するため、市主導で積極的に外国人労働者の活用と環境整備を進めては。

議員 市認知症ケア

農林商工部長 十和田商工会議所と連携し、外国人技能実習制度の事業者への周知に努め、実習生の受入れ促進で人手不足解消につなげたいと考えています。